

天王寺動物園は1915年1月1日に開園した長い歴史を持つ動物園です。大阪の中心部に位置する園内では、およそ200種1,000点の動物を飼育しています。動物の生息地の景観を可能な限り再現し、そこに暮らす動物の様子を紹介する「生態的展示」が人気で、カバやキリン、ライオンなどが暮らすアフリカサバンナゾーン、アジアゾウが暮らす熱帯雨林ゾーンなどで生態的展示を取り入れています。大阪にしながら広大な自然の中にいる気分を味わってみませんか。



その他のイベント

Instagramはじめました

スタッフ目線での動物の様子、休園日の動物の様子をご紹介。普段はなかなか見られない動物の姿も見られますよ。

テンジクネズミふれあい体験

(当日予約制)

飼育員によるガイドと注意事項の説明の後、なでる、だっこするなどのテンジクネズミとのふれあいを体験いただけます。

時間 平日 14:00 14:20 14:40 15:00

土日祝日 11:30 14:00

(所要時間 約15分)

場所 園内 ふれあい広場

定員 各回16名 参加費 無料

テンジクネズミなでなでタイム

(土日祝のみ・予約不要)

開催時間内は自由にテンジクネズミにふれあっていただけます。(テンジクネズミを持ち上げたり、だっこしたりはできません。)

時間 土日祝 14:45~16:00

(平日はなでなでタイムはありません)

場所 園内 ふれあい広場 参加費 無料

おやつタイム・ごはんタイム

動物がおやつやごはんを食べる様子をご覧いただけます。飼育員がワンポイントガイドを行います。

日時 園内看板やホームページにてお知らせ

戦時中の動物園展

第二次世界大戦時に天王寺動物園でやむをえず処分した動物たちの剥製展示や講話を通じて戦争の悲惨さや平和や命の大切さをお伝えします。動物園で起こった悲劇を通し、改めて今ある平和の尊さに気づいていただくきっかけにいただければ幸いです。

日時 8月8日(火)~8月20日(日)

場所 園内 レクチャールーム

学芸員のおススメコレクション

大阪文化財研究所 四天王寺旧境内遺跡出土の重文級軒丸瓦

今回紹介するのは、摂河泉随一の古刹・四天王寺の東の隣接地で出土した瓦です。古代の軒丸瓦(軒先を飾る瓦)の文様はハスの花卉をかたどった蓮華文が主流で、8枚の花卉が丸く巡る単弁八葉蓮華文、2枚1組の花卉が同様に配された複弁蓮華文などが中心ですが、この瓦は単弁とはいえ細い花卉16枚の文様と復元されます。花卉の内側(中房)には中央に1個、周りに6個の小突起(蓮子)があり、外側(外縁)にも小突起が巡っています(連珠文)。これと同じ瓦が四天王寺の金堂跡で出土し、国の重要文化財に指定されています。

(大阪文化財研究所学芸員 積山洋)

※今回紹介した瓦は、大阪歴史博物館特集展示「新発見! なにわの考古学2017」に出品の予定です。  
会期: 8月30日(水)~11月13日(月)

大阪文化財研究所 ●所在地 〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-6-41 ●TEL 06-6943-6833 ●FAX 06-6920-2272 ●アクセス 大阪歴史博物館 地下鉄「谷町4丁目」2または4号出入口市バス「馬場町」すぐ ●ホームページ 大阪文化財研究所 <http://www.occpa.or.jp/> 大阪歴史博物館 <http://www.mus-his.city.osaka.jp/index.html>



単弁十六葉蓮華文軒丸瓦(8世紀前半)

